

【第7回 血管内留置カテーテル管理研究会】

第1回の本研究会学術集会を開催したのは2014年の8月でした。台風のために参加できなかった方がおられたことを思い出します。以後、年2回の学術集会を開催してきましたが、2016年より年1回の開催としております。カテーテル管理に興味がある方は少ない？そんな思いもありますが、重要な領域であることは間違いありません。逆に考えると、この研究会に参加してこられる方は、この領域に強い興味を持っておられる方であり、かつ、専門家である方であるはずで、だから活発な議論を行うことができるのです。

第7回は、以下の内容で開催しますので、積極的に演題を応募してください。お待ちしております。

日時：2018年12月15日 9:30～18:00

会場：大阪大学コンベンションセンター

テーマ：PICCの適応と問題点、合併症と管理成績

【シンポジウム】

PICCの現状と問題点

2016年8月20日に開催した第4回血管内留置カテーテル管理研究会でPICCを取り上げました。あれから2年以上が経過し、PICCを積極的に導入している施設が非常に多くなってきているようです。診療看護師や特定行為研修を終えた看護師が積極的にPICCを挿入している施設も多くなってきているようです。CVCの8割以上がPICCという施設があることも聞いています。今回は、PICCの適応、挿入に関する成績、管理中の成績と問題点などについて検討し、今後、どのように展開すればよいのかについて議論したいと思います。

【一般演題】

カテーテル管理と静脈栄養、在宅静脈栄養、CVポートの管理、カテーテル感染、合併症などに関する演題を広く募集します。特にカテーテル感染予防対策に関する演題が集まればいいな、と思っております。

血管内留置カテーテル管理研究会 代表世話人 井上善文